

			科目コード	433
科目名	輸血移植検査学 (Blood Transfusion and Transplantation Medicine)		開講学科	臨床検査学科
選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)	履修時期
担当教員	山田 武司		科目区分	専門科目
授業概要	輸血・移植医療の臨床的意義、輸血に伴う副作用、移植拒絶反応、血液型とHLA型の基礎を教授する。			
授業目標	<p>輸血医療、臓器移植医療の分野で輸血移植検査は臨床的にも社会的にも重要な検査であることを理解し、それらを行うための基本的知識を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 輸血や臓器移植の副作用 (GVH, HVG等) について説明できる。 2. 血液型 (ABO型及びRh型) 検査の臨床的意義を説明できる。 3. 不規則抗体の臨床的意義及びその検出方法を説明できる。 4. 交叉適合性試験を論理的に説明できる。 5. 組織適合性抗原の機能と臨床的意義を説明できる。 			

授業内容

回	項目	内 容
1	輸血・移植検査総論(1)	輸血・臓器移植の意義と副作用、輸血副作用
2	輸血・移植検査総論(2)	GVH 反応、拒絶反応、輸血製剤
3	血液型(糖鎖抗原)(1)	血液型全般、ABO式血液型、ランドシュタイナーの法則、抗原合成経路、抗原構造
4	血液型(糖鎖抗原)(2)	ABO型遺伝子、ABO分泌型とLewis式血液型との関連、他の糖鎖血液型
5	血液型(蛋白抗原)(1)	Rh式血液型、抗原構造、遺伝と遺伝子、変異型
6	血液型(蛋白抗原)(2)	Rh不適合妊娠と検査、その他のタンパク抗原、不規則抗体
7	HLA(1)	HLAの種類と機能
8	HLA(2)	HLA遺伝子、遺伝子多型、検査
成績評価方法	定期筆記試験により判定する。	
教科書	大谷文雄・木村彰方・小林賢ほか「移植・輸血検査学」2012年(講談社サイエンティフィク)	
参考図書等	(参考書) プリントを配布	
備考		